



公益財団法人日本YWCA

2022年度事業報告

事業年度: 自)2022年4月1日 至)2023年3月31日

公益財団法人日本YWCA 2022年度事業報告

事業年度: 自)2022年4月1日 至)2023年3月31日

2020年初頭から3年余り、COVID-19感染拡大のため、多くのプログラムはオンラインを活用して実施してきた。2022年度の後半からは、少しずつではあるが、対面でのプログラムや会議、研修を実施することができた。2023年5月には「5類感染症」となったが、まだまだ感染のリスクはなくなっていない。今後は、コロナ禍で培ったオンライン会議のスキルを併用しながら事業を企画・推進していく。このような状況のもと、2022年度は、「今できる形で」実施するための工夫や検討を重ねて、以下の事業を実施した。

1. 平和・人権・環境などグローバルな課題について学習及び普及活動を行い、かつこれらの問題解決のために若い女性のリーダーシップを養成する事業（公益目的事業1）

「平和」「人権」「環境」「教育」「女性への暴力」「HIVとAIDS」「性と生殖/健康」など女性と子どもに関わる地球規模のグローバルな課題を、ことに若い世代の人たちに普及啓発することを目的に、若い女性を対象とした以下のリーダーシップ養成プログラムを実施した。長かったコロナ禍もようやく収束の兆しが見え、プログラムでは座学の他、可能な範囲で課題の現場への訪問を重視したフィールドワークを行い、これらの学習と実践によって国際社会に貢献する次世代の人材養成を行った。

■講演会:『海をあげる』の上間陽子さんに聴く、沖縄

実施日・方法:2022年5月21日(土) オンライン

講師:上間陽子(琉球大学教育学研究科教授)

参加者:208名

社会調査を専門とし、沖縄の夜に働く少女たちの生の声を聴き、シェルター「おにわ」の共同代表でもある上間陽子さんに、沖縄の「今」を話していただいた。トークセッションでは、母子支援施設、女性支援の現場などで活躍する参加者やオンラインでの視聴者が、沖縄という厳しい環境でもあきらめない上間さんの言葉にエンパワーされた。

■近現代史講座～日韓編～

実施日・方法:2022年6月25日(土)、7月16日(土)、8月20日(土) オンライン

講師:小澤裕子(大阪YWCA会長/塾講師)

参加者:45名(うちユース26名)

YWCAの国際プログラムに参加するユースを想定した初学者向けのオンライン学習会。朝鮮半島の歴史を学ぶ全3回の連続講座として実施した。第1回「近代以前の朝鮮半島と日本の交流」、第2回「東アジアの近代化と朝鮮」、第3回「南北分断、軍事政権から民主化」。オンラインを活用しての初めての試みであったが、韓国・朝鮮の文化やスポーツにまつわるこぼれ話を交えながらの密度の濃い内容に、受講生の満足度の高い講座となった。

■ひろしまを考える旅

開催日程:2023年3月25日(土)~27日(月) 於:広島

「ひろしまを考える旅」は、核兵器による惨事を二度と繰り返さないために、平和の大切さを学び、平和な世界を実現したいと願い、広島の地で実施する2泊3日(オプションルツアー実施の場合は3泊4日)のプログラム。2018年夏の実施を最後にプログラムの見直し期間に入ると同時に、2020年から3年間は新型コロナウイルスの感染拡大のため実施できなかったが、今回5年ぶりに開催することができた。中学生からシニアまで、総勢42名が参加。基調講演に始まり、広島平和記念資料館の見学や平和公園内にある碑をめぐる。フィールドワークや被ばく証言を聴いて、旅のテーマ、「なぜ核兵器を持ちたがるの?」を探究した。

2. 青少年の健全な心身育成に資する事業 (公益目的事業1)

毎夏、豊かな出会いの中で思いやりと生きる力を育み、平和な未来を創り出す人材を養成することを目的に、中学生や高校生を対象にカンファレンスを実施してきた。コロナ禍ではオンラインでの地区カンファレンスを行ってきたが、2022年度は完全オンラインでの全国カンファレンスを実施した。当日は世界YWCAのユースとオンラインで対話する時間を持ち、12のワークショップのうち9つを地域YWCAのユースたちが担当し、これまで培ったファシリテート力や学びを発揮した。中高YWCAの生徒たちにとっては年齢が近い人たちが社会課題に取り組んでいることを知り、新たに歩みだす力を得る機会になった。

■中高YWCA全国カンファレンス2022

開催日程・方法:2022年8月2日(火)~3日(水) オンライン

テーマ:世界につながるいのちのチカラ

参加者:201名

内容:

8月2日(火)

開会礼拝、自己紹介、世界YWCAゲストの動画・質疑応答、学校紹介、基調講演、全体の分かち合い

8月3日(水)

朝の礼拝、オリエンテーション、ワークショップ、全体発表、閉会礼拝

【ワークショップ】

1. 沖縄と基地、そして私 by沖縄YWCA
2. やりたい勉強、仕事できるかな?~私らしく生きる社会をデザインする~ (京都YWCAユース委員会)
3. ムードは壊してなんぼ!~対等なパートナーシップとは?~ (東京YWCA Rise Up School Visits チーム)
4. 政治参加で変える身の回りの社会~生きてっていいと思える世の中に~ (横浜YWCA Rise Up School Visits チーム)
5. 「写真加工」はなぜするの?~「見た目」について話してみよう~ (大阪YWCA Rise Up School Visits チーム)
6. あなたが外国に引っ越して、学校で授業がわからないのにサポートがなかったら?
~疑似体験ワークショップ「サンチャゴ君なんで?」(大阪YWCA多文化ワークショップグループ)
7. エネルギーから世界を変える~SDGs 誰ひとりとのこさない~ (新潟YWCA)

8. 私たちの身近にある国際社会 ～それは外国人だけの問題ですか？～（熊本 YWCA 国際委員会）
9. LGBTIQ+から SOGI へ ～多様な性ってどういうこと？～（日本 YWCA ユース・ジェンダー小委員会）
10. 「見えない障がいを考えよう」～みんなが生きやすい社会を作れるかな？～
（松原未知(社会福祉士・精神保健福祉士・公認心理師・東洋英和女学院中高スクールソーシャルワーカー）
11. 戦争ってどうして起きるの？ ～地球環境といのちを考える～（桃井和馬（写真家・ノンフィクション作家・恵泉女学園大学人文学部教授）
12. YWCA のセーフ・スペースって？～「こんな場所があったらいいな」を考える～（山本知恵 自立援助ホーム「カルーナ」ホーム長、京都 YWCA・日本 YWCA 総幹事）

■中高 YWCA 顧問総会・研修会

日本 YWCA に加盟する学校 YWCA の顧問を対象とする研修と、1 年間の活動報告と活動計画について協議する顧問総会を毎年実施している。2022 年度はハイブリッド方式で行った。

＜中高 YWCA 研修会＞

開催日程：2022 年 12 月 26 日(月)～27 日(火)

開催方法：ハイブリッド方式(対面：東京 YWCA 会館、オンライン：Zoom)

内容：開会礼拝(郡司啓子)、顧問研修会 講師：松原未知(東洋英和学院中高スクールソーシャルワーカー)、各校紹介・情報交換、顧問総会、閉会

＜中高 YWCA 顧問総会＞

開催日：2022 年 12 月 27 日(火)

開催方法：ハイブリッド方式(対面：東京 YWCA 会館、オンライン：Zoom)

主な議事：次回の全国カンファレンスについて、2023 年度中高 YWCA 委員について、2023 年度顧問総会・研修会の日程

3. 国連機関および国内外の NGO との協働や機関紙・ウェブサイトでの情報配信等を通して行うアドボカシー(政策提言等)事業 (公益目的事業 1)

国連の諮問機関でもある世界 YWCA との連携と協働のもと、女性と子どもに関するグローバルな課題解決のために政策提言を行った。平和・人権・環境・教育・女性への暴力・HIV と AIDS・性と生殖/健康など、女性と子どもに関わる課題を取り上げたアドボカシー事業を実施し、真理を見極める人材を育成した。また、当法人の公益事業の周知と当法人に対する支援や協力の推進をはかるべく情報発信や広報、ファンドレイジングの促進を行った。それらを YWCA が発行する機関紙やウェブサイトでの情報配信を行った。

■「アジア地域 YWCA 会議～女性と平和・安全保障～」への参加

実施日・方法：2022 年 6 月 10 日(金) オンライン

11 カ国の YWCA から代表者が参加。日本 YWCA からは 12 名が出席し、長年にわたる平和構築への取り組みについて報告した。この会議は、世界 YWCA に加盟するアジア地域 YWCA の共催。

■韓国 YWCA 主催「女性平和フォーラム」への参加

実施日・方法：2022 年 7 月 6 日(水) オンライン

韓国 YWCA 設立 100 周年を記念して開催された「2022YWCA 女性平和フォーラム(2022 YWCA Women

Peace Forum)」にオンライン参加。日本 YWCA から、平和憲法を守るための活動とその背景について発題。

■国際平和デー・オンラインイベント 平和について、国を超え一人ひとりの声を

開催日・方法:2022年9月21日(水) オンライン

参加者:33名

「#herstory」と題して日本 YWCA が呼びかけた、国際平和デーのオンラインイベント。ウクライナやパレスチナをはじめ 10 の国と地域から参加。一人ひとりが「自分の国／団体の代表」でなく個人として参加し、互いにつながりを深めるインタラクティブなプログラムとして開催。各参加者が、平和・紛争・正義などに関する経験や思いを他の地域の参加者と語り合う貴重な機会になった。

■世界 YWCA 主催「ダイアログ」への参加

スイス・ジュネーブに本部を置く世界 YWCA が呼びかけ、グローバルな活動の展望について協議するためにオンライン開催する「Dialogue(対話)」。2022年度は3回のセッションに参加した。

- ・ 7月12日～13日 テーマ:世界 YWCA の組織と会員制度
- ・ 9月19日～21日 テーマ:「2035年にむけた共通目標」の実現
- ・ 12月14日～16日 テーマ:各参加者の2022年の反省や成果と2023年に向けた抱負を共有。

■CSW67 パラレルイベント「ソーシャルメディアと性的搾取」

開催日程:2023年3月4日(土)～11日(土)

派遣者:5名(オンライン参加1名含む)

日本 YWCA は国連協議資格を持つ国際団体として、毎年3月に米国・ニューヨークで行われる国連女性の地位委員会(CSW)にユースを派遣している。2022年度は、3年ぶりに現地への派遣が実現した。CSW67に合わせて実施される NGO 主催イベントとして、日本 YWCA は「ソーシャルメディアと性的搾取」をテーマに、日本のマスメディア上のジェンダー課題やオンラインでの子どもへの性的搾取などの現状、それを受けてのユースとしての提言を発表。その後、会場40名・オンライン60名の参加とともに具体的アクションを考えるアクティビティを実施し、活発な質疑応答も行われた。開催準備を通じ、発表者一人ひとりが、それぞれの「できること」を誠実に出し合い、互いにエンパワーしあいながら実現したパラレルイベントとなった。

■その他アドボカシー活動

- * 機関紙「YWCA」の企画・編集・年6回発行
- * 「核」否定に関する情報をわかりやすく発信
- * ウェブサイトでの情報を国内および世界に向けて随時発信
- * 全国アクション(日本 YWCA Facebook キャンペーン、パブリックコメントや署名運動の呼びかけ)
- * 政策提言を必要に応じて実施
- * 民意を無視した政治の情報収集及び他団体協働の集会への賛同、国会前行動への参加
- * 他団体の媒体への情報掲載や、イベント等へ出展

<声明・要望書・賛同>

2022年

4月6日 「ロシア軍の即時撤退と対話による解決を強く求めます」声明表明

7月6日 「憲法改悪を許さない全国署名」(呼びかけ団体 9条改憲 NO! 全国市民アクション)に賛同

8月2日 「安倍晋三元首相の『国葬』に強く反対します」声明表明

- 8月23日 日本 NGO 団体による要請文「イスラエル・ガザの停戦継続に向けて」に賛同
- 9月11日 原発推進方針の撤回を求める要請書（呼びかけ団体:国際環境 NGO FoE Japan、原子力規制を監視する市民の会、原子力資料情報室）に賛同
- 12月23日 『『安保3文書』閣議決定 への抗議文』を提出
- 2023年
- 1月10日 『『安保3文書』閣議決定への抗議文(27 団体賛同)』を提出
- 1月12日 「戦争ができる国づくりのため他国への武器援助さえ実施する『安保3文書』に反対します」に賛同

4. 国内外の災害や紛争等に対する緊急支援事業（公益目的事業 1）

国内外で起こった地震・洪水・事故等の災害や紛争等で被災した女性や子どもたちの安全と安心を確保するために、支援物資や支援金の提供および現地のニーズにあった適切なプログラムを実施した。また、そのために必要なボランティア等の人材を養成した。

■東日本大震災被災者支援

2011年の東日本大震災および東京電力福島第一原子力発電所事故以来、被災した女性や子どもたちを対象に、リフレッシュプログラム等中長期支援を行ってきた。COVID-19の拡大が収まらない状況の中では、「福島の子どもたちを何とか招きたい」と実施のための検討を重ねてきた。2022年度に実施できたリフレッシュプログラムは1件のみであったが、工夫を凝らし、オンラインを活用した福島の今を知るおはなし会など多彩なプログラムを実施した。

* 心と身体の保養のための「リフレッシュプログラム」

地域 YWCA で行われたプログラム
 熊本 YWCA

福島&熊本キッズ春のわくわく
 キャンプ

実施日程:

2023年3月24日(金)~29日(水)

場所:立神峡里地公園キャンプ場

対象:福島県と熊本県の小学1年生
 ~6年生まで



参加者:小学生16名、中学・高校生リーダー7名、大人リーダー12名、食事スタッフ10名

* 被災者受け入れのための住宅支援「セカンドハウスプログラム」

日本 YWCA は、主として家族単位で被災者を受け入れ、東日本大震災被災者支援募金より交通費の一部を補助。各地域 YWCA の協力を得て続けている。

COVID-19 拡大が利用者に大きな影響を与え、2022年度も利用直前の感染状況によりキャンセルが続いたが、賛同者の多大な協力により、1家族3名を迎えることができた。



*** 福島市の女性や子どもたちの活動スペースとして、YWCA活動スペース「カーロふくしま」(福島県福島市矢剣町29-3)を運営**

活動目的:

- ・ 地域の女性の暮らしを再生することを支援する。
- ・ 福島市周辺に住む女性を対象に、暮らし再建のため、自らの、また地域の抱える課題解決のために主体的に行動できる人材を養成する。
- ・ 活動に参加した女性たちが、その後地域に根差した新規活動を立ち上げ、被災地域の復興と活性化を図ることを支援する。
- ・ 全国の保養活動やセカンドハウスプログラムの拠点となる。



以上を目的として、2022年度も福島を拠点とする事業を企画した。「カーロふくしま」おはなし会はオンラインを活用して3回実施した。小中学生を対象とした学習支援「カーロでスタディ」は月1~2回のペースで、対面で行った。

- ・ カーロふくしまおはなし会
開催日・方法:2022年8月2日(火)、9月28日(水)、12月16日(金)、2023年3月10日(金) オンライン
- ・ カーロでスタディ 開催日:2022年4月~2023年3月に、38回開催(のべ参加者157名)、おたのしみ会3回開催(のべ参加者45名)、出張開催2回(のべ参加者40名)
- ・ そのほか、パステルシャインアート教室等への会場提供

■国内外で起こった災害や紛争等の緊急・中長期支援

* 2022年1月にトンガ沖で起きた海底山噴火の被災者支援として、パプアニューギニアYWCA、ソロモン諸島YWCA、サモアYWCAが参加するNGO連合とトンガの女性団体を通じ、現地に支援を届けた。

*** パレスチナYWCAの活動支援およびオリーブの木キャンペーン**

パレスチナでは、何十年も不安定な情勢下のなかで、子どもたちの心身のサポートが必要とされている。1950年に難民キャンプで幼稚園事業を開始したパレスチナYWCAは、軍事占領下で生きる子どもたちがクリエイティブに学び、健康に育ち、自信を育む場をつくっている。日本YWCAは2022年、新型コロナウイルスの流行で困難に直面するパレスチナYWCAの幼稚園事業を支える募金の呼びかけを開始し、5月にはオンラインイベントをパレスチナYWCAと共催した。また、イスラエル軍や入植者により脅かされるパレスチナの土地に世界中の人々がオリーブを植樹する「オリーブの木キャンペーン」を継続的に応援しており、2022年度は149本のオリーブを贈った。

<パレスチナ・日本YWCA共催「ナクバ」から74年:パレスチナ難民キャンプの子どもたちに笑顔を>

開催日・方法:2022年5月16日(月) オンライン

参加者:80名

*** ウクライナ支援の取り組み**

2022年2月のロシアによる侵攻開始以来、日本YWCAは全国の地域YWCAと連携してウクライナの支援

に取り組んでいる。2022 年度は、以下の 2 つの活動に募金を届けた。

- ・ ウクライナ YWCA の行う現地の女性たちの支援
- ・ 日本 YMCA 同盟が行うウクライナ内外避難者への支援活動

2023 年 3 月からは支援先をウクライナ YWCA に絞って募金を呼びかけている。ウクライナ YWCA は、被災した女性たちのニーズに応じて、食料、医療品、建築資材など基本的な生活必需品の配布、また子どもや高齢者施設の支援を行っている。心の傷を負った女性たちのための精神的リハビリテーションプログラムも計画している。

***ビルマ・プラットフォームへの参加**

2022 年 11 月よりキリスト教団体を中心としたネットワーク「ビルマ・プラットフォーム」に参加した。同プラットフォームは、現地の団体への支援を通して教育・医療・農業に同時並行的にアプローチし、長期的・非暴力的な形で人権の保護・促進に寄与していくことを目的としている。日本 YWCA からはオンラインの月次会議に 2 名が参加し、また 2023 年度は 20 万円の支援金送金に加え、国内ネットワークの中で支援を呼び掛けしていくことを予定している。

5. 地域社会に貢献するボランティアのリーダーシップ養成事業(公益目的事業 1)

国際規模の社会貢献活動を推進し、質を維持するために継続したリーダーシップトレーニングの実施が不可欠である。以下のボランティアによる全国規模の集いや会議等の社会貢献活動プログラムを日本 YWCA に加盟する全国の地域 YWCA および学校 YWCA と、日本 YWCA が加盟する世界 YWCA に連なる各国 YWCA との協働により実施する。これらのプログラムに参加することによって、ボランティアのリーダーシップが発揮されるようになり、ボランティア・コーディネートを担い、社会状況を分析する力を養い、地域社会・国際社会の女性と子どものニーズに応えながら、主体的に事業の企画・推進を担う、国際的視野にたつ人材が育成される。

■社会貢献活動を推進するボランティアのリーダーシップ養成

国際的・社会的状況を把握・分析し、課題解決のために取り組むべき事業を担うために必要な力を養うためのプログラムおよび研修会

*** 日本 YWCA の公益事業の企画会議(運営委員会)**

開催日:

2022 年

4 月 16 日(土) 7 月 17 日(日) 9 月 18 日(日) 10 月 15 日(土) 12 月 17 日(土)

2023 年

1 月 15 日(日) 2 月 18 日(土) 3 月 18 日(土)

7 月 17 日は、国立オリンピック記念青少年総合センターにて対面開催、1 月 15 日は日本 YWCA 御茶ノ水事務所と Zoom によるハイブリッド、その他はいずれも Zoom によるオンライン。

*** バーチャル de 地域 YWCA 訪問**

目的: 全国 24 地域 YWCA を知り、YWCA の全国運動の協働関係を深める。訪問を受ける側は、自分たちの地域 YWCA を紹介する準備作業の段階で、活動内容を「伝える」視点でまとめる機会とする。訪問する側/訪問

を受ける側の双方にとっての研修の機会とする。

対象:全国 24 地域 YWCA の会員・職員、日本 YWCA 運営委員・職員

訪問時間: 毎回 15 分間

訪問方法: Zoom を用いたオンライン

2022 年 4 月 16 日(土)松山 YWCA・平塚 YWCA、6 月 25 日(土)呉 YWCA・熊本 YWCA、7 月 23 日(土)札幌 YWCA・京都 YWCA、9 月 17 日(土)福島 YWCA・函館 YWCA、10 月 8 日(土)静岡 YWCA・大阪 YWCA、10 月 22 日(土)長崎 YWCA、11 月 5 日(土)湘南 YWCA、2023 年 1 月 21 日(土)新潟 YWCA、1 月 28 日(土)釧路 YWCA・広島 YWCA、2 月 25 日(土)神戸 YWCA

*** 全国規模の社会貢献事業の企画会議(加盟 YWCA 中央委員会)**

開催日・方法:2022 年 5 月 28 日(土) オンライン

*** 地域 YWCA ジェンダーに関する活動交流会**

開催日・方法:2022 年 5 月 28 日(土) オンライン

参加者:80 名

*** 全国の社会貢献事業の拠点である全国の YWCA のリーダーシップ研修**

・ オンライン会員集会「社会変革に挑む YWCA の組織ガバナンス」

全 3 回とも Zoom によるオンライン。

講師:川北秀人(IIHOE 人と組織と地球のための国際研究所 所長)

【第 1 回】

開催日:2022 年 10 月 10 日(月・休)

参加者 40 名(仙台・東京・横浜・平塚・名古屋・京都・大阪・神戸・呉・福岡・日本 YWCA)

【第 2 回】

開催日:2022 年 11 月 13 日(日)

参加者:42 名(仙台・東京・横浜・平塚・名古屋・京都・大阪・神戸・呉・福岡・日本 YWCA)

【第 3 回】

開催日:2023 年 1 月 22 日(日)

参加者:42 名(仙台・横浜・東京・平塚・名古屋・京都・大阪・神戸・呉・福岡・日本 YWCA)

*** YWCA フェスタ 2022**

開催日:2022 年 11 月 26 日(土)

方法:対面(東京 YWCA 会館)とオンラインのハイブリッド方式

参加者:133 名(対面 95 名、オンライン 38 名)

内容:開会、分科会 I、分科会 II、LA 第 3 期プレゼンテーション、臨時全国会員総会 運営委員選挙結果報告、閉会

*** 全国の社会貢献事業の拠点である全国の YWCA のユースのリーダーシップ研修**

・ ユース・ギャザリング

開催日:2022 年 11 月 27 日(日)

方法:対面とオンラインのハイブリッド方式

参加者:31名(対面23名、オンライン8名)内、ユース21名(ユース・ギャザリング実行委員3名含む)、人材養成部会リーダーシップ養成チームメンバー5名、職員5名

内容:

<午前の部>開会礼拝、アイスブレイク、地域YWCAでの活動共有

<午後の部>人材養成部会リーダーシップ養成チームによる「私を知る」講座、「ユースの新しいウツワのかたちプロジェクト」の説明と意見交換、小グループでの感想共有、全体での感想共有。

- ・ **セーフ・スペースで体験しよう!『心地よく自分を表現する』**
—私の「伝えたい」を伝える、言わない自分も否定しない—

開催日:2023年1月29日(日)

方法:ハイブリッド方式(対面:大阪府ドーンセンターとオンライン:Zoom)

参加者:対面9名、オンライン3名

内容:話し合い「意見を言えない時、今困っていること」、言ってみる—アサーショントレーニング、ワーク「アンコンシャスバイアスを越えて、コミュニケーションをとるには」

* ボランティアと共に全国規模の社会貢献事業を推進するためのYWCAの職員研修

- ・ **1年目~3年目職員研修(全4回)**

開催日:2022年6月4日(土)、25日(土)、7月16日(土)、30日(土)

各回参加者22名

開催方法:第1回~第3回はZoomによるオンライン、第4回は名古屋YWCAにて対面実施

- ・ **4年目以上の幹事研修(全4回)**

開催日:2022年9月1日(木)、22日(木)、10月13日(木)、11月3日(木・休)~4日(金)

開催方法:第1回~第3回はZoomによるオンライン、第4回は福岡YWCAにて対面実施

参加者:4名

- ・ **オンライン幹事研修(幹事研修2022秋の公開講座)**

開催日:2022年11月4日(金)

参加者:28名(内、研修担当総幹事4名)

テーマ:社会課題の解決とその事業化への挑戦~志が世界を変える~

講師:渡辺郁(わたなべかおり) 株式会社アンサーノックス代表取締役

6. 土地建物の貸与および共有事業 (収益目的事業1)

当法人の公益目的事業の実施に必要な資金を補うことを目的として、法人が所有する東京都千代田区九段南4-8-8の土地と建物を貸与している。公益目的事業に安定した資金供給のために、建物を良好な状態で維持管理するべく、日常の営繕を実施した。



7. 法人運営

当法人の管理・運営業務として、評議員会・理事会を設置している。2022 年度は以下のように会議を実施した。

(1) 評議員会

開催日

2022 年 6/16 * Zoom によるオンライン 2023 年 3/28 * 書面決議

開催内容

2022 年

6/16	議案 第 1 号議案 評議員長の選出 の件 第 2 号議案 議事録署 名人選出の件 第 3 号議案 2021 年度事業報告並びに同附属明細書の承認の件 第 4 号議案 2021 年度計算書類（貸借対照表及 び正味財産増減計算書及び同附属明細書並びに財産目録の承認の件 第 5 号議案 役員等 候補者選考 委員会 構成員の件 報告 (1) 2021 年度第 1 回～第 6 回および 2022 年度第 1 回理事会の決議内容について (2) 2022 年度第 2 回理事会の議案について
------	--

2023 年

3/28	議案 第 1 号議案 2023 年度事業計画案の承認の件 第 2 号議案 2023 年度予算案の承認の件
------	---

(2) 理事会

開催日

2022 年 5/30 7/2 8/29 10/3 12/5 2023 年 3/6

開催内容

2022 年

5/30	議案 第 1 号議案 2021 年度事業報告の承認の件 第 2 号議案 2021 年度計算書類(貸借対照表・正味財産増減計算書)および附属明細書並びに財産目録の承認の件 第 3 号議案 常務理事選任の件 第 4 号議案 役員等候補者選考委員会立ち上げの件 第 5 号議案 地域 YWCA 支援について(仙台 YWCA 他) 報告 (1) 代表理事報告 (2) 常務理事報告 (3) 各部会の進捗状況 ・財政・会館事業部会 ・建物管理部会 ・人事部会 ・広報・ファンドレイジング部会 ・編集
------	--

	<p>部会 ・人材養成部会 ・平和のための YWCA 研究室 (4) 運営委員会関連報告</p>
7/2	<p><u>議案</u> 第 1 号議案 印章管理規程の改訂の件 第 2 号議案 地域 YWCA 支援短期貸出し規程の改訂の件 第 3 号議案 神戸 YWCA からの要請への対応の件</p> <p><u>報告</u> (1) 代表理事報告 (2) 常務理事報告 (3) 各部会の進捗状況 ・財政・会館事業部会 ・建物管理部会 ・人事部会 ・広報・ファンドレイジング部 会 ・編集部会 ・人材養成部会 ・平和のための YWCA 研究室 (4) 運営委員会関連報告</p>
8/29	神戸 YWCA 支援に関する情報共有と意見交換
10/3	神戸 YWCA 支援に関する情報共有と意見交換
12/5	今総会期後半 2 年間の各事業の計画と予算を具体化するための意見交換
2023 年	
3/6	<p><u>議案</u> 第 1 号議案 2023 年度事業計画案の件 第 2 号議案 2023 年度予算案の件 第 3 号議案 「決議の省略の方法による評議員会の招集」の件 第 4 号議案 「定時評議員会の目的及び場所並びに目的である事項」の件 第 5 号議案 合同会議を受けての動きの件 第 6 号議案 平塚 YWCA への支援終了の件</p> <p><u>報告</u> (1) 前回理事会以降の各部会等の進捗状況の件 ①代表幹事報告 ②常務理事報告 ③各部会の進捗状況 ④運営委員会関連報告 ⑤公益財団法人神戸 YWCA からの現状報告</p>

(3)人事部会

当法人の理事会の委嘱を受けて日本 YWCA 職員人事全般に関して責任を負い、2022 年度は 6 回の会議、職員との人事面談、就業規則の見直し等をもって、労働環境の整備等にあたった。

(4)理事会、ボランティアの運営委員会の会長・副会長・書記、地域 YWCA の総幹事との合同会議

開催日:2023 年 2 月 19 日(日) 11:00~17:00

開催方法:対面(東京 YWCA 会館 217 号室と Zoom のハイブリッド)

内容:31、32 総会期に合同会議を重ねてきた「日本 YWCA の働きと機能」について、現状と課題を共有。

以上